

仙台青年

SENDAI YMCA NEWS



専門学校 特集

— 新設『国際ビジネス科』 —

留学生の受け入れのはじまりから9年

2024年4月、本校では留学生を対象とした新しい学科「国際ビジネス科」を開設いたします。2015年4月、「国際おもてなし科」が新設され、第1期生として1人のネパール人が入学しました。それから9年目になります。留学生の受け入れに対して全く整っていない状態でスタートした1年目からこの9年間で大きく前進しました。今春、7期生が卒業し、みな国内外のホテル・旅館・航空業界で活躍しています。外国人材は貴重な戦力となっているようで、2021年の東京オリンピックの際には、各地で通訳やサービススタッフとして活躍する卒業生たちの姿が見られ、大変嬉しく思いました。

来日する外国人留学生数は、政府の「留学生30万人計画」のもと、コロナ禍に一時的には減りましたが、すでに31万人を超えています。今年4月に、政府の教育未来創造会議が開かれ、コロナ後の新たな留学生受入方策について、10年後の2033年までに外国人留学生の受入数40万人を目指す指標案が示されました。

在留資格

外国人が日本で就職する場合にネックとなるのが「在留資格」です。専門学校卒の留学生が就職する場合、専門学校で専攻した履修科目と仕事内容に密接な関連性が必要でした。しかし、今年7月、法務省は、この条件を緩和することを発表しました。実際には、いつから・どの程度緩和されるのかは、発表を待つこととなりますが、いずれにしても、外国人留学生の就職先を大幅に広げ、様々な分野で外国人材の雇用を進めていく方針が変わりはないようです。今後、様々な業界で、さらなる外国人材の活躍が期待されます。

(第2面に続く)

国際ビジネス科へ

企業の方からは、ホテル業界に限らず、「YMCAの留学生を採用したい」という嬉しいお声を多く頂戴しております。宿泊業分野だけでなく、観光業分野、商業分野等さまざまなビジネス分野への就職を目指す留学生が学びを得られるのが「国際ビジネス科」です。

「国際ビジネス科」には、ホスピタリティ・接客サービス・観光ビジネスの授業を中心に、ビジネス実務やマーケティング、ITスキル、語学(日本語・英語)等の授業があります。もちろん、長期インターンシップも可能です。講義・演習では、第一線で活躍中の現役のプロや、業界を知り尽くした講師陣から、専門知識を学びます。また、現在国内で起業している外国人を講師に招き、起業のためのノウハウも学びます。これらの専門科目に加えて、語学にも力を入れます。日本語は、レベル別の少人数クラスで四技能(文法・語彙・読解・聴解)を総合的に学び、JLPT対策も取り入れ、在学中にN2～N1の取得を目指します。英語クラスでは、接客だけでなくビジネスシーンで通用するビジネス英語を学びます。語学とビジネススキルを身に付けた外国人材は即戦力となり、国内外で活躍の場が広がります。また、ホテル科、国際おもてなし科との合同授業もあり、学校イベントやボランティア活動等、日本人との相互交流が盛んに行われます。このことは、日本文化・習慣の理解や日本語の習得に大いに役立っています。

卒業後は、これまでも要望が多くあった飲食業をはじめ、国際貿易(海外販路の開拓)、空港業務、旅行関係や一般企業など幅広く就職先を得られます。すでに、在学中のインターンシップや2年後の卒業時の採用の相談をいただいている企業もあります。

卒業生たちの活躍により、企業の皆様からいただいている信頼を失うことなく、さらに連携を強め、様々な業界に貢献できる外国人材を育てていくことを私たちの使命として、YMCAらしい「国際ビジネス科」となるように進めてまいります。皆様のご協力・ご支援を、どうぞよろしくお願いいたします。

(国際おもてなし科担任：小林尚美)



夏期実習先訪問

ホテル専門学校では、毎年の夏期実習が、学生たちにとって非常に重要な経験の一つとなっています。この実習プログラムは、7月18日(火)から9月15日(金)までの約2ヶ月間にわたって行われます。主に1年生が参加し、全国各地のホテルで実務経験を積む機会があります。今年度は、ホテル科から6名と国際おもてなし科から11名の計17名の学生が実習に参加しました。学生たちの多くは、ホテル業界での実務経験が初めてで、この実習を通じて専門的なスキルや知識を磨いています。実習は、日本全国各地で行われました。仙台市内、軽井沢、舞浜、東京など、異なるロケーションで学生たちは実践的なホテル業務に取り組みました。彼らは授業で学んだ専門知識や技術を実際の業務に応用し、ホテルスタッフとしてのマナーやお客様への対応、宿泊施設運営の実務に関する幅広いスキルを磨きました。今年度の実習先は、ウェスティンホテル仙台、仙台なだ万、仙台ロイヤルパークホテル、ホテルメトロポリタン仙台、ホテルプレミアムグリーンヒルズ、ホテルグリーンウィズ、ホテルプレミアムグリーンプラス、グランドエクシブ軽井沢、シェラトン・グランデ・トーキョーベイ・ホテル、ホテル鹿島/森、そしてホテルニューオータニ東京の11カ所でした。実際に実習先へ訪問した際、会えた学生たちは皆、明るい笑顔で迎えてくれました。その笑顔からは、実習を楽しんで学んでいることが伝わり、実り多い時間を過ごしていることは明らかでした。この夏期実習は、学生たちにとって貴重な機会であり、彼らの成長と将来の選択肢の幅を広げるために大いに貢献するものとなっています。

(教務：佐竹辰太郎)



報告

国際・地域協力募金

10月17日(火)、北海道・十勝の大地で育った、美味しいじゃがいも・かぼちゃ・たまねぎが届きました。コンテナの扉が開いた瞬間、搬入作業のために集まった職員やリーダーの皆さんの気合いが一気に高まりました！毎年恒例、バケツリレーのように段ボールをお隣りへ…。美味しさと栄養がたっぷり詰まったじゃがいもやかぼちゃは、本当に『重い』…。その分育ててくださった方の『思い』もたっぷり詰まっていることを感じます。搬入作業に来てくださった皆さん、ご協力ありがとうございました。

届いたじゃがいも・かぼちゃ・たまねぎは、事前予約で購入の皆さんにお渡しすると共に、各施設などで、国際・地域協力募金特別プログラムとしてばら売りも行う予定ですので、ぜひご購入ください。

このプログラムにより得られる販売利益は、東日本大震災被災地支援、仙台YMCA子ども支援プログラムなど、様々な社会活動に役立てられます。ぜひご理解とご協力をお願いいたします。(国際・地域協力募金実行委員：木村由佳)



「ボランティアを通して」 伊藤麻央（宮城学院女子大学）

私は、今年の夏に西中田こども園のお泊りキャンプにボランティアとして参加させていただきました。大勢の子どもたちと自然の中で過ごし、一緒に寝泊まりをするという貴重な体験をすることができました。キャンプの中で特に印象に残っているのは、子どもたちの忍耐力の強さです。川遊びで、水の流力が怖くても前に進んでみようかと挑戦する姿や、川で遊んだ帰りに、疲れて弱音を吐きながらも諦めずに歩く姿、夜に足が痛くなって泣きたくなくても自分で身支度を頑張る姿など、子どもたちがめげずに立ち向かう場面を見て、園児の気持ちの強さを体感しました。

また、最初は子どもたちと仲良くなれるか不安でしたが、共に時間を過ごしていくうちに距離も縮まり、「面白い虫がいたよ！」「一緒にこれやろう！」など、子どもたちがたくさん話しかけてくれるようにもなりました。嬉しかったこと、面白かったことなど、気持ちを共有することができてとても楽しかったです。

私は保育教諭を目指しているのですが、現役の保育者の仕事を真近で見ることができ、とても勉強になりました。子どもたちが興味を持つような話し方や表情、子どもが良くないことをしてしまった時にかかる言葉、子ども同士で意見が食い違っている時の対処法など、多くの事を学びました。その中でも特に勉強になったのは、「教えることだけが正解ではない」ということです。虫取りで虫取り網を取り合っている場面に直面しました。その時私は、「代わりばんこで使おうね」と教えました。しかし、保育者の方は、「どうすればみんなが使えるかな？」と園児に問いかけました。園児は自分たちで考えて解決することができたので、子ども自身に考えさせることが大切であるということ学びました。

そして、保育の現場を体感したことで、子どもたちが安全に楽しく過ごしているのは、保育者同士の連携があるからだということにも気づくことができました。このように、ボランティアを通して子どもと保育者と関わることで多くの学びを得ました。これからも、定期的にこども園のボランティアに参加して、たくさんの事を学んでいきたいと思えます。



連載

加藤 総主事の

『みつかる。つながる。
よくなっていく。』

第5回

「紛争地域に祈りを」

「平和に暮らし、何に縛られることもなく、自由に旅をし、自由に活動し、YMCAのユースエンパワーメントの活動にも何の問題もなく参加する。世界のYMCAのユースの皆さんがしているようなこと。それが私の夢です。」これは、2014年7月ガザYMCAのユースRamyAl-Jeldaさんからのメッセージ(2014年7月30日日本YMCA同盟作成)です。また、大きな殺戮が、暴力が、中東でおこなわれています。人々が逃げ惑い、多くの子どもたちも亡くなっています。1週間で100万人もの方が自宅を追われて避難を余儀なくされています。「もうどこに逃げたらいいかわからない」少女が泣きながら訴えています。自分にいつミサイルが向かってくるのかを考えながら爆撃音の中でいること、眠ることもできないその恐怖はいかほどのものなのでしょう。多くの子どもたち、ユースの夢をこの戦争は奪っています。私たちは今祈ることしかできません。でも、祈ることをやめてはいけません。正義を訴え、平和を祈ること。命の大切さを思うことを止めてはいけません。私たち一人ひとりには小さく、できることは限られます。しかし、小さな一歩が変化をもたらすことになります。思いを込めて祈り続け、なんらかの行動の機会には協力の輪を広げたいと思います。この紛争地域にも私たちと同じようにYMCAがあります。パレスチナにはガザYMCA、東エルサレムYMCA、イスラエルにはエルサレム・インターナショナルYMCA。ともに平和を願い活動を展開しています。同じ仲間のためにも皆さんの祈りと行動を捧げましょう。



仙台YMCAの使命

私たち仙台YMCAは、イエス・キリストによって示された愛と奉仕の生き方に学びつつ、青少年の全人的成長を願い、このわざを東北の地に広げるための活動を行います。

共に生きる社会をめざします。

私たちは、すべての人が喜びと痛みを分かち合う、豊かな愛と希望に満ちた社会の実現に努めます。

喜びのある生き方をすすめます。

私たちは、すべての人が、生涯にわたる学びと交わりをとおし、共に成長できる生き方をすすめます。

世界平和の実現に努めます。

私たちは、歴史をふりかえり、一人ひとりの人権とすべてのいのちが尊ばれる世界の実現に努めます。

地球環境を大切にします。

私たちは、地球環境を守り、自然と人との共存をめざします。

ボランティアの働きを地域社会に広げます。

私たちは、人と人とのかかわりを豊かに育み、隣人に仕えあう喜びの輪を広げます。

子どもたちの生きる力を育てます。

私たちは、子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、子どもたちが自発性に富み、自立心豊かでたくましい人間に育つよう支援します。

高橋梨香さん (ポップクラブ高橋志保ちゃん保護者)

私とYMCAの出会いは、学生の時のコースボランティアリーダーとしてでした。友人に誘われてYMCAの存在、ボランティアリーダーの存在を知りました。学生リーダーとしては細く長く、5～6年間、プールリーダーを中心に、季節キャンプやタイワークキャンプにも参加しました。ウェルเนสスクラブのプルフロントもやり、たくさんの会員さんに可愛がっていただきました。初めてボランティアリーダーとしてYMCAのプールに入ってから今年でちょうど20年！今では3人の母になり、長女(小3)はポップクラブ、スイミング、ピアノなどでお世話になり、長男(年長)はスイミングなどでお世話になっています。二女(年少)もスイミングデビューを検討中です。私が初めてYMCAに来てから20年、私のYMCAとの関わり方は「ボランティアリーダー」から「メンバーの保護者」と大きく変わりましたが、昔も今も私の大切な生活の一部になっています。子どもたちがキャンプに参加して、帰宅後キャンプでの思い出話を聞いたりすると、子どもたちが充実した体験を持てたことに感謝の気持ちを感じています。私も学生の時もっとキャンプのリーダーをやればよかったなあ...とか、私はリーダーの時こんな風に子どもたちと関わっていたらいいかなどと思ったりもしています。子ども達がプールを卒業することに頃に私がまたプールリーダーをやるというのもありかもしれません(笑)。リーダーのみなさん、スタッフのみなさん、いつもありがとうございます。これからも様々な関わり方で、私の生活の大切な一部としてYMCAと関わっていけたらと思っています。



Column

国際・地域協力募金実行委員長 三上 雅敏

『小さな善意で未来へ貢献』

2023年度、国際・地域協力募金実行委員長を拝命いたしました。

名ばかり委員長ではなく、社会貢献をするという当事者意識を持ち、各施設の実行委員の皆様と頑張りたいと思います。ご協力をお願いいたします。

昨今、世界各地では紛争や自然破壊など悲惨な事が多々あります。報道でもありますように、未来を担う子どもたちの犠牲がたくさんあり、なぜ同じ人間同士で争わないとならないのか、疑問に思うことが多くあります。

また、地球温暖化による自然環境が壊れつつあり、コロナに代表されるように、世界各国で新たな病原体が発見されております。また、身近な情報として、仙台の平均気温が10年前の宇都宮と同じといわれており、我々の主食である米の生産地が新潟・東北から北海道へと移動しております。以上のことは、世界的問題として政治が考えていく問題としつつ、我々は目の前の小さな貢献のため活動をしていきましょう。

今年度はコロナの影響で出来ておりませんでした街頭募金を実施予定です。皆様もご協力いただければ幸いです。よろしく申し上げます。



十勝じゃがいも・
かぼちゃ・たまねぎ 販売
ご購入
ありがとう
ございました!!

国際・地域協力募金実行委員会



維持会費 (9月21日～10月23日)

皆様のお支えに、心より感謝申し上げます

維持会員A	維持会員C
工藤 悦子	清水 弘一
中島 恵	

※敬称略



一般会員・サポート会員を 随時募集中です

ぜひ会員として、
仙台YMCAの活動をお支えください
お問い合わせ:本部事務局

TEL:022-222-7634

FAX:022-222-2952